

授業科目

対人コミュニケーション論（介護福祉コース用）

担当教員名 五十嵐 紀子	対象学年	1	対象学科	社会（介護福祉コース用）
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

前期の「コミュニケーション学概論」での学びを発展させ、夏期に行ったデイサービスでの現場実習を振り返る。グループワークにより、実習での経験を語り合い、そこから、新たな気づきを得たり、再認識したりする。主に、施設における時空に着目することを意識的に行う。

授業の目的

対人コミュニケーションの理論を学ぶことで、他者との関わりにおける人間の社会的行為について理解を深める。日常的な場面を理論に照らし合わせながら、自己理解、他者理解についての学びを深めることで、実社会におけるコミュニケーションの基礎力をつけ、より良い人間関係の形成のための素地を作ることを目的とする。また、将来就くであろう介護福祉士として働く現場での様々な状況において、学習した内容を応用しようとする意識づけを行う。

学習目標

1. 対人コミュニケーションの理論を理解する
2. 身近なことや社会現象などに学んだ理論を当てはめ考察できる
3. コミュニケーションの基礎力をつけ、実践しようとする
4. より良い人間関係の形成のための素養を高める

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	「コミュニケーション学概論」の復習	五十嵐 紀子
2	言語・非言語コミュニケーション	講義、アクティビティ、ディスカッション	五十嵐 紀子
3	言語・非言語コミュニケーション	講義、アクティビティ、ディスカッション	五十嵐 紀子
4	自己理解と他者理解	講義とディスカッション	五十嵐 紀子
5	「説得」の理論と納得を得る方法	講義、ビデオ視聴、ディスカッション	五十嵐 紀子
6	利用者の理解と支援	ビデオ視聴とディスカッション	五十嵐 紀子
7	利用者の理解と支援	講義、ディスカッション	五十嵐 紀子
8	まとめ		五十嵐 紀子

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書	授業中適宜紹介する					
その他の資料	ハンドアウト	授業にて配布				
	授業のパワーポイント					授業終了後にポータルサイトから各自ダウンロード

評価方法

授業でのコメントシート15%、レポート試験70%、グループディスカッション、ロールプレイ、発言など授業への参加15%

履修上の留意点

グループワークが中心となるので、積極的に、かつ、自由にディスカッションすることを心がけ、また、それを楽しんで下さい。

オフィスアワー・連絡先

原則として、メールでアポイントを取ってから（日時のお約束をしてから）いらして下さい。
メールでの相談や質問は、いつでもOKです。

研究室：J406（J棟 4F）
メール：igarasi@nuhw.ac.jp